



ふしぎエンドレス 使い方

学習における位置づけ

こちらにあるワークシートは、先生方から児童に使い方を示していただいた上で、児童が自宅で、番組「ふしぎエンドレス」を見ながら学習を進めるためのものです。

使い方については、2つの場合を想定しています。

①単元の授業が全く行えない場合

ワークシート全てに取り組んだあとで、最後に挙げた動画の視聴まで、児童が自分で取り組む。

②単元の授業が一部、行える場合

先生が児童に「自分でやっておく範囲」を決めて伝え、その先は授業で取り組む。

番組のポイントとワークシートの構成

「ふしぎエンドレス」は、新学習指導要領が重視している「問題解決の力」の育成支援をねらいとしている番組です。学習内容についてどんな視点や考え方を働かせて観察・実験を行えばいいのか、以下のように学年ごとに分けて構成しています。

3年生 複数のものを「比較」して「差異点」や「共通点」から「ふしぎ・問題」を見つける

4年生 「既習の内容」や「生活経験」を「関係付け」て「理由のある予想」をする

5年生 「見通しをもった観察や実験の計画」を立てて「条件を制御」して「観察・実験」する

6年生 複数の観察・実験結果を「整理・分析(多面的に考える)」し、「妥当な考え(言えること・まだ言えないこと)」をつくり出す

ワークシートの構成は、上記の力を意識して身につけられるように、番組を途中まで見て、問題解決の力を発揮する前の手がかりについて、書くことで意識化・整理し、さらに番組の続きを見て、実際に問題解決の力を発揮した内容について、書くことで意識化・整理する、という流れになっています。

(ワークシート記載のQRコードを読み取れば、番組をパートごとに再生することができます)

段階ごとに「今やっていること」を「スキル」として自覚することによって、新しい課題に取り組む際に生かせるようになってほしいと考えているためです。

児童に課題として出す際にご留意いただきたいこと

ふしぎエンドレスという番組を、私たちは「知識を伝える番組」ではなく、「考え方を伝える番組」と位置づけています。そのため、教科書を見てすぐ答えが分かる問題ではなく、あえて学習指導要領とは違うことを問題にしている場合もあります。

また、各段階で考えてワークシートに記入することは、「唯一の正解」ではありません。問題解決の力を働かせることができているならば、「予想」や「考え」は多様であっていいと考えています。

是非、児童たちの「問題解決の力」を育むために、先生方のご協力を賜れば幸いです。
何とぞよろしくお願いいたします。

「ふしぎエンドレス」制作班